



「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ょうりよくする



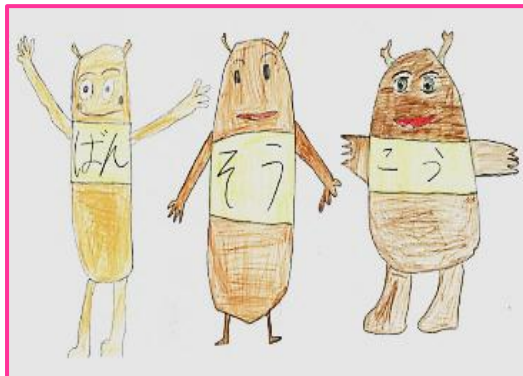
加古川市立西神吉小学校

学校通信

No.66

～ けがを減らそう ～

先日の朝会では、保健委員会の児童が、全校生に「けがを減らそう」と呼びかけました。



どんなにルールやマナーを守っていても、集中していても、用心していても、転んでしまったり、失敗したりして、けがをすることはあります。けれど、ふざけて、ルールやマナーを守っていない中でけがは減らせるのではないかな。そんなけがを西神吉小学校から無くしていきたい。6日(月)にあった委員会活動の時間に、保健委員会でそんな風に話し合ったそうです。朝会では、保健委員会のみんなで話し合っただけで決めた取組を、全校生にアナウンスしました。

まずは保健委員会のマスコットキャラクター『ばん』『そう』『こう』と『わるふざ犬』です。学校の中で「わるふざけ」をして、けがをする人が減ってほしいという願いをこめて考えたそうです。

そして、10月までの間、『ケガなシール』という取組も行います。ルールは次の3つ。

- ①月曜日から金曜日までの1週間、クラスの中で「ふざけてけがをした人」を数えます。ふざけてしたけがとは、「廊下を走ってけがをした」「教室や廊下で暴れていてけがをした」など、学校のルールやマナーを守れていなかったり、危ないけがをしたりしたときです。
- ②もし、けがをした人が「2人以下」だったら、そのクラスに「ケガなシール」をプレゼントします。
- ③保健委員会が月曜日に人数を数えて、火曜日にシールを届けます。

各クラスには、シール台紙が配られます。これはビンゴカードにもなっています。縦、横、斜めにそろるように、みんなで協力して、たくさんシールを集めてください！廊下を走ったり、危ない遊びをしていませんか？みんなで声をかけあって、わるふざけによるけがをゼロにしましょう、とのことでした。

子ども達が、子どもたち自身で、気を付けていきたいことやできていないことを考え、見つけ、「こうしたい！」「こう変えていきたい！」という思いを形にして取り組んでいく。本当に素晴らしい取組だと思います。委員会等の生活面だけでなく、学習面においても、「やらされるもの」ではなく、子ども達にとって「やるべきもの」「やりたいもの」になっていけばいいと思います。



西神吉っ子の一コマ



図書ボランティアのみなさま
これからもよろしくお願いします



図書ボランティアのみなさま。今年度も西神吉っ子のために、ありがとうございました。先日、本屋さんの数がどんどん減り、県内でも「本屋ゼロ」市町があるというニュースがありました。たくさん並んだ本の中から自分で選び、手に取る体験、そして本を読んでもらうという体験は、読書の世界への入口として、これからも大切にしたいです。